

看護学部	職名	講師	氏名	森永 朗子
------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

福岡大学大学院にて修士（看護学）および博士（医学）の学位を取得。内分泌・糖尿病内科領域で看護師として臨床経験を積んだ後、地域包括支援センターで保健師として地域保健活動に従事しました。現在は大学で、地域・在宅看護学領域の教育・研究に携わっています。

研究では、地域住民の健康と生活を主要なテーマとしています。これまで男性高齢者の社会活動に関する研究に取り組んできました。現在は脂肪肝に着目し、将来の動脈硬化リスクとの関連を明らかにし、生活習慣の改善につなげる方策を検討しています。また、認知症をもつ人との信頼関係がどのように築かれるのかというプロセスにも関心があり、今後は認知症をもち生活上の困難を抱える人に対する支援のあり方を明らかにしたいと考えています。

教育では、療養の場が地域へと広がる中で「生活を支える」視点を大切にしています。対象者一人ひとりの暮らしに寄り添った看護を実践できる看護職の育成に取り組むたいと考えています。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- T. Sakaguchi, A. Morinaga, et al., H. Arima. Non-fasting and fasting serum triglyceride concentrations and new-onset hyperuricemia in the general Japanese population: ISSA-CKD study. Scientific Reports. 2025; 15(1): 5764.
- K. Kawano, A. Morinaga, et al., H. Arima. Relationship between abdominal circumference and the incidence of hyperuricemia in the general Japanese population. Scientific Reports. 2024; 14(1): 4573.
- A. Morinaga, K. Iwanaga, et al., H. Arima. Association between serum ALT levels and incidence of new-onset diabetes in general population of Japanese: a longitudinal observational study (ISSA-CKD). BMJ Open. 2023; 13(8): e074007.

②その他最近の業績

<学会発表>

- 男性高齢者の社会参加の推進の取組み（ワークショップ）．共同世話人，岡野明美，森永朗子，古賀佳代子，保母恵，小林奈緒子，曾我智子，藤本公恵．日本地域看護学会第 28 回学術集会 2025 年 9 月
- つながろう！地域包括支援センター保健師－地域ぐるみの自立支援の推進に向けて－（ワークショップ）．古賀佳代子，森永朗子，岡野明美，永井潤子，小林奈緒子．第 13 回日本公衆衛生看護学会学術集会 2025 年 1 月
- 子育てにおける父親と母親の関係と子育て支援（示説）．原田春美，森永朗子，中嶋恵美子．日本看護研究学会第 50 回学術集会 2024 年 7 月

③過去の主要業績

- 森永朗子，原田春美，緒方久美子，兼岡秀俊．男性高齢者の社会活動への参加要因に関する研究．日本地域看護学会誌. 2022; 25(1): 4-11.
-

3. 外部研究資金

科学研究費補助金（若手研究）、研究課題：「脂肪肝に着目した潜在性動脈硬化の予防」、
交付金額：4,290 千円、研究期間：2024. 04. 01 – 2028. 03. 31

4. 受賞

5. 所属学会

日本地域看護学会、日本公衆衛生学会、日本公衆衛生看護学会、日本痛風・尿酸核酸学会、日本看護研究学会

6. 担当授業科目

暮らしを知る実習・1 単位・1 年・後期、暮らしの中の看護を知る実習・1 単位・2 年・前期、地域・在宅看護論・2 単位・2 年・後期、専門看護学ゼミ・2 単位・3 年・通年、在宅看護論演習・2 単位・3 年・通年、在宅看護支援実習・2 単位・3 年・後期、地域包括支援実習・1 単位・4 年・通年

7. 社会貢献活動

8. 学外講義・講演

9. 附属研究所の活動等